

# 平成 21 年度(2009 年度) 船の科学館 基盤整備事業 事業報告書

## 1 . 学芸振興活動

### (1) “ 宗谷 ” の一般公開

“ 宗谷 ” の乗船者数及び公開日数は、次のとおりであった。

- ・本年度の乗船者数 92,467名  
(うち、本館には入館せず“ 宗谷 ” だけを見学した乗船者数 2,735名)
- ・公開日数 320日
- ・当館の休館日に伴う未公開日数 45日

### (2) “ 羊蹄丸 ” の一般公開

“ 羊蹄丸 ” の乗船者数及び公開日数は、次のとおりであった。

- ・本年度の乗船者数 65,857名  
(うち、本館には入館せず“ 羊蹄丸 ” だけを見学した乗船者数 2,665名)
- ・公開日数 320日
- ・当館の休館日に伴う未公開日数 45日

### (3) 図書関係

図書(逐次刊行物を含む)の充実を図り、読書ルームを一般公開した。

- ・公開日数 269日

### (4) 資料の受入

現在はFRPの船体が主流になっている中、沖縄地方の木造船「サバニ」の建造を、鉄の船釘を使用しない伝統的な建造技術を有する沖縄の下門(しもじょう)造船所に発注し、平成22年1月30日に完成・引渡しを受け、船の科学館に運搬して展示した。

さらに、過去多くの博物館で木造船の修復・復元作業に携わってきたアメリカ人と船研究家ダグラス・ブルックス氏が今回の制作に加わり、伝統技術による制作過程を記録した英文の報告書の提出を受けた。

本年度においては、この「サバニ」を含め、次のとおり資料の受け入れを行った。

- 購入・制作資料 沖縄地方における伝統的様式の木造船「サバニ」他11件
- 寄贈・寄託資料 船舶模型 「さんふらわ みと」他384件

(5) 資料の貸出

三菱重工業（株）名古屋誘導推進システム製作所

貸出資料：二式大型飛行艇火星22型エンジン 2基

期 間：平成21年4月1日～平成22年3月31日（継続）

警視庁東京湾岸警察署

貸出資料：船舶模型 カティーク 他2点

期 間：平成21年4月1日～平成22年3月31日（継続）

株式会社天賞堂

貸出資料：三笠の図面 10点

期 間：平成21年5月1日～7月31日

兵庫県立歴史博物館

貸出資料：500分の1船舶模型 46点

期 間：平成21年6月下旬～10月上旬

横浜ユーラシア文化館

貸出資料：絵画（マゼラン、ガマ、コロンブス、遣唐使船） 4点

期 間：平成21年9月下旬～平成22年1月下旬

八戸市博物館

貸出資料：船舶模型 弁才船等 4点

期 間：平成21年9月2日～11月13日

千葉県立中央博物館

貸出資料：船舶模型 ガレオン船 1点

期 間：平成21年9月3日～11月8日

(6) 写真資料の貸出

出版会社等への写真資料の貸出を行った。 40件 128点

(7) 博物館活動への参加

博物館相互の関係を密接にするため、各種博物館活動に参加するとともに類似博物館などと交流を図った。

## (8) 催事等の開催

### ワールド シー ワールド

海での安全と防災意識及び海と船への興味・関心の高揚を目的として海上保安庁、警視庁及び東京消防庁による水難救助訓練のデモンストレーション、プレジャーボート及びカヌーの体験操船教室、小型船舶操縦免許情報コーナー、ギャラリートーク等で構成する複合型イベントを実施した。

開催期間：平成21年5月3日(日)～5月5日(火) 3日間

開催場所：船の科学館、羊蹄丸及び周辺海域

参加者数：7,661名

君も、一日海上保安官になろう！

海上保安の日にちなみ、東京海上保安部の協力を得て小学生を対象に巡視艇“まつなみ”による東京港内の巡視体験等を実施した。

開催期間：平成21年5月24日(日) 1日

開催場所：船の科学館、羊蹄丸及び東京港

参加者数：71名

### セーリングカヌー体験乗船教室

プロセーラー、西村一広氏を代表とする Team Nishimura Project 及び東京海洋大学ヨット部OBの協力を得て、セーリングカヌーの体験乗船を行った。

開催日：平成21年4月19日(日)、5月31日(日)、7月12日(日)、  
9月6日(日)、10月4日(日)、11月8日(日) 6日間

開催場所：宗谷・羊蹄丸中間水域

参加者数：627名

### 臨時「海の相談室」

海の月間に伴う事業として、海上保安庁海洋情報部及び財団法人日本水路協会の協力により、海洋情報に対する知識の普及啓蒙を図ることを目的とした臨時「海の相談室」を開催した。

開催期間：平成21年7月18日(土)、19日(日) 2日間

開催場所：船の科学館 3階マリタイムサルーン

参加者数：377名

## 海洋教室

海上保安庁海洋情報部の協力を得て、海図を作成する為の水深や底質を調べる体験型の教室を開催した。

開催期間：平成21年7月18日（土） 1日

開催場所：水産庁専用棧橋

参加者数：22名

## 海の安全教室

海上保安庁東京海上保安部の協力を得て、海難事故防止や海上環境保全に係る啓発を行った。

開催期間：平成21年7月25日（土）、26日（日） 2日間

開催場所：船の科学館 本館3階マリタイムサルーン前

参加者数：2,614名

## 海図等の展示

明治から現代までの東京湾測量図や横浜開港祭にちなんだ「象の鼻」の海図を展示した。

開催期間：平成21年7月18日（土）～26日（日） 9日間

開催場所：船の科学館 3階マリタイムサルーン前

参加者数：10,244名

## 測量船“海洋”一般公開

海上保安業務への理解を促進するため、普段は乗船する事ができない海上保安庁の測量船を一般公開した。

開催期間：平成21年7月18日（土） 1日

開催場所：水産庁専用棧橋

参加者数：495名

## 帆船模型工作室「夢工房」

木製帆船模型同好会「ザ・ロープ」との連携事業として、模型制作作業を通して、制作方法、使用器具、工程などを広く一般の見学者に紹介した。

開催期間：平成21年4月～平成22年3月の各土・日曜日

開催場所：青函連絡船“羊蹄丸”ギャラリー

#### 講談「南極第一次観測隊物語」

講談師 宝井梅星氏が、初代南極観測船“宗谷”にまつわる物語を、臨場感溢れる講談にして来館者に伝えた。

開催期間：平成21年4月19日（日）～平成22年3月21日（日） 12回

毎月1回開催

開催場所：船の科学館 本館宗谷側玄関前等

参加者数：163名

#### 海の男のギャラリートーク

海洋会船の科学館ボランティアグループに所属する元船長や元宗谷乗組員等が海や船の現場で培ってきた経験談を語った。

開催期間：平成21年7月18日（土）～10月31日（土） 16回

開催場所：船の科学館展示場内、初代南極観測船“宗谷”内

参加者数：347名

#### 親子で作る簡単な船の模型教室

木製帆船模型同好会「ザ・ローブ」の協力により、親子で簡単な船の模型を制作する体験教室を開催した。

開催期間：平成21年8月15日（土）～9月27日（日） 3回

開催場所：青函連絡船“羊蹄丸”ギャラリー

参加者数：155名

#### 飾り毛布制作実演

青函連絡船元乗組員のボランティアの協力により、飾り毛布を制作実演する体験教室を開催した。

開催期間：平成21年10月24日（土）～平成22年3月13日（土） 6回

開催場所：青函連絡船“羊蹄丸”エントランスロビー

参加者数：230名

#### ボランティアによるミュージアムツアー

本館展示場内を毎回決まったテーマに沿って分かりやすく解説をした。

開催期間：随時

開催場所：船の科学館展示場内

参加者数：4,357名

## 古文書解読会

青山学院大学片桐一男名誉教授他古文書解読ボランティアグループが、船の科学館所蔵の古文書資料の解読及び基本資料「和漢船用集」の校訂作業を実施した。

開催日：毎月 第二木曜日

開催場所：船の科学館会議室

## キャプテンシップと学ぶ航海士のお仕事～見張り編～

小学生を主な対象として、航海士の業務説明と双眼鏡を使った「見張り」作業の体験及び船の科学館周辺の港湾施設や船舶の観察会を実施した。

開催期間：平成21年7月25日(土)～平成22年3月28日(日) 24回

開催場所：船の科学館6階ブリッジ

参加者数：639名

## Happy Night view in 船の科学館～東京港の夜景を楽しもう～

船の科学館のロケーションを活かし、主に若い男女を対象に開館以来はじめて夜の展望塔を開放して夜景見学イベントを実施、終了後、参加者が願い事を書いた「願い文」を東京大神宮に奉納した。

開催期間：平成21年12月12日(土)～平成22年2月14日(日) 19回

開催場所：船の科学館展望塔

参加者数：458名

## (9) 共催・後援・協力事業

「海」や「船」及び「環境」などをテーマとした各種事業に共催・後援・協力などを行い、海事科学知識の普及、啓発に努めた。

### 東京港水中生物研究会

開催期間：平成21年5月10日(日)～平成22年3月21日(日) 6回

開催場所：お台場海浜公園及び船の科学館周辺海域

主催：東京港水中生物研究会

参加者数：97名

### 第62回 東京みなと祭共催

#### 海の子どもフェスタ～東京港の海と船に親しもう～

開催期間：平成21年5月16日(土)、17日(日) 2日間

開催場所：船の科学館 “羊蹄丸” 及び周辺

参加者数：3,852名

東京海洋大学 第49回海王祭 バードカービング工作教室

開催期間：平成21年6月6日(土)、7日(日) 2日間

開催場所：東京海洋大学越中島キャンパス

主催：東京海洋大学 海王祭実行委員会

参加者数：55名

東京海洋大学 「ミニ船の博物館」

開催期間：平成21年6月6日(土)、7日(日) 2日間

開催場所：東京海洋大学越中島キャンパス

主催：東京海洋大学 海王祭実行委員会

入場者数：141名

お台場 海の教室「生物観察会」

開催期間：平成21年7月23日(木) 1日

開催場所：お台場海浜公園水辺

主催：ブルーシー・アンド・グリーンランド財団

参加者数：34名

東京港親子学習会

開催期間：平成21年7月31日(金)～8月7日(金) 3回

開催場所：東京港内、船の科学館、木材・合板博物館

主催：国土交通省関東地方整備局東京港湾事務所

参加者数：37名

第46回関東地区中学生海の絵画コンクール

開催期間：平成21年7月31日(金)～8月8日(土) 9日間

開催場所：船の科学館 本館 エントランスホール

主催：社団法人関東海事広報協会、財団法人日本海事広報協会

来場者数：10,423名

防災イベント「イザ！カエルキャラバン」

開催期間：平成21年8月29日(土)、30日(日) 2日間

開催場所：がすてなーに ガスの科学館

主催：「BO-SAI 2009 in 豊洲」実行委員会

参加者数：120名

船の科学館水ものフェスティバル in 船の科学館

開催期間：平成21年9月6日（日） 1日

開催場所：船の科学館 体験教室プール

主催：水ものフェスティバル in 船の科学館実行委員会

参加者数：51名

第1回「全日本帆船模型展」～海のロマンを追って～

開催期間：平成21年9月20日（日）～27日（日） 8日間

開催場所：船の科学館 本館3階 マリタイム サルーン

主催：木製帆船模型同好会「ザ・ロープ」

入場者数：9,238名

第37回「我ら海の子展」特別展示会

開催期間：平成21年10月17日（土）～25日（日） 9日間

開催場所：船の科学館 本館3階 マリタイム サルーン

主催：社団法人日本海洋少年団連盟

入場者数：3,163名

第16回豊洲フェスタ

開催期間：平成21年10月24日（土） 1日

開催場所：江東区豊洲文化センター

主催：財団法人江東区地域振興会

参加者数：122名

海好きのための 東京湾 海の生態学学習 at 船の科学館

開催期間：平成21年11月15日（日） 1日

開催場所：青函連絡船“羊蹄丸”アドミラルホール及び実験教室

主催：東邦大学理学部東京湾生態研究センター

参加者数：20名

商船模型同好会作品展

開催期間：平成21年11月21日（土）～23日（月） 3日間

開催場所：船の科学館 本館1階 オーロラホール

主催：商船模型同好会

入場者数：568名

東京税関音楽隊「秋のシーサイドコンサート」

開催期間：平成21年11月22日(日)

1日

開催場所：船の科学館 みどりの広場

主催：東京税関

来場者数：110名

日蘭通商400年記念歴史的造船施設シンポジウム

開催期間：平成21年11月28日(土)、29日(日)

2日間

開催場所：青函連絡船“羊蹄丸”アドミラルホール

主催：日蘭通商400年記念歴史的造船施設シンポジウム 実行委員会

参加者数：75名

練習帆船“日本丸”出航式見学会

開催期間：平成22年1月12日(火)

1日

開催場所：“日本丸”船内及び航海訓練所専用棧橋

主催：独立行政法人航海訓練所

参加者数：500名

沖ノ鳥島フォーラム2010～みんなで創ろう！！沖ノ鳥島～

開催期間：平成22年1月23日(土)

1日

開催場所：船の科学館 本館1階 オーロラホール

主催：東京都

参加者数：170名

艦船模型サークル「ミンダナオ会」展示会

「世界の軍艦～戦後各国の海軍と海上自衛隊～」

開催期間：平成22年2月13日(土)、14日(日)

2日間

開催場所：青函連絡船“羊蹄丸”アドミラルホール

主催：艦船模型サークル「ミンダナオ会」

入場者数：630名

第2回海洋教育フォーラム 日本の海洋教育を考える

「- 船長さんが語る海洋教育 -」

開催期間：平成22年3月6日(土)

1日

開催場所：船の科学館 本館 4 階 マリンホール

主 催：社団法人日本船舶海洋工学会、海洋教育推進委員会

参加者数：120名

21 春休み 海の子どもフェスタ

写真展「マリナーズ・アイ」及び「海の絵画展」

開催期間：平成22年3月20日(土)～29日(月)

10日間

開催場所：船の科学館 本館3階 マリタイムサルーン

主 催：財団法人全日本海員福祉センター

入場者数：7,464名

22 春休み 海の子どもフェスタ

ア.写真展「船から見る風景100選」

開催期間：平成22年3月20日(土)～29日(月)

10日間

開催場所：羊蹄丸エントランスホール

主 催：関東海事産業次世代人材育成協議会

入場者数：3,134名

イ.東京港見学会

開催期間：平成22年3月29日(月)

2回

開催場所：東京港内

主 催：関東海事産業次世代人材育成協議会

参加者数：93名

ウ.ジュニア・マリン賞 研究発表・表彰式

開催期間：平成22年3月29日(月)

1日

開催場所：羊蹄丸アドミラルホール

主 催：財団法人日本海事広報協会

参加者数：100名

23 江東区立大島中学校カヌー部練習会

開催期間：平成21年4月～平成22年3月

28回

開催場所：体験教室プール

主 催：江東区立大島中学校カヌー部

参加者数：310名(延べ)

## 2. 「100年構想プロジェクト」事業

船の科学館は、平成19年7月20日の「海の記念日」に施行された海洋基本法や海洋基本計画の閣議決定に象徴されるように、「海に守られた日本から、海を守る日本へ」と、わが国における海洋への取り組みが大きな転換期を迎えるなか、海洋国家日本の首都東京に位置し、海洋新時代に相応しい海洋博物館の構築を目指して下記の業務を行った。

なお、本構想実現のための特定資金として、平成21年度は日本財団より20億円の助成金の交付を受けた。

### (1) 「新たな海洋博物館の基本計画書」の策定業務

海洋新時代に相応しい海洋博物館の構築を目指して、「新たな海洋博物館の基本計画書」の策定業務を行った。なお、協力事業者として平成20年度に選定した建築設計事業者及び展示事業者と業務委託契約を締結した。

基本計画策定会合(建築部門) 計20回

基本計画策定会合(展示部門) 計16回

基本計画策定会合(合同会議) 計3回

### (2) 「新たな海洋博物館に関する有識者懇談会」の開催

開催日 平成21年10月20日(火)

場 所 船の科学館 マーメイドホール

議 題 新たな海洋博物館はどうあるべきか ~目指すべき海洋博物館像とは~  
博物館の持続的な経営について  
博物館を含めた複合施設の可能性について  
その他

出席者 委員8名 他 オブザーバー等17名

### (3) 「新たな海洋博物館に関する有識者懇談会に基づく検討会」の開催

開催日 平成21年12月24日(木)

場 所 船の科学館 クラウンルーム

議 題 どのような複合施設が考えられるか

出席者 委員2名 他 アドバイザー等17名

### (4) 船の科学館敷地地盤水準測量等調査

期 間 平成21年12月17日~平成22年3月15日

測量調査 平面測量

高低測量  
植栽調査  
真北測量  
地質調査   ボーリング調査  
標準貫入試験  
不攪乱試料採取  
室内土質試験

### 3．募金活動

昭和54年5月より、船の科学館前面水域にて一般公開中の初代南極観測船“宗谷”の老朽化に伴い、保存募金活動を平成15年3月より開始し、本年度は1,267,601円、平成22年3月末までの7か年の累計で9,667,847円の寄付金が集まり、内4,200,000円を平成17年度の“宗谷”保存整備事業に充当した。その結果、残額は5,467,847円となっている。

### 4．来館者の誘致活動

来館者の誘致活動については、大手新聞社へ前売券の販売、近隣の博物館やアミューズメント施設・マスメディア・公共交通機関との連携による割引入場券の配布、及び都内の博物館・美術館共通入場券販売企画「ぐるっとパス2009」への参加等を行い、入館者の増大に努めた。

なお、「ぐるっとパス」の共通入場券を持参しての見学者は3,954名であった。

さらに、官公庁・海事関連団体による展示会・会議・セミナーの開催を誘致することにより既存ホールの積極的な活用と船の科学館の知名度の向上に努めた。

### 5．広報活動

広報活動における催事及び業務を次のとおり実施した。

#### (1) 行事の実施

前出の学芸振興活動における「海」や「船」及び「環境」などをテーマとした各種事業への共催・後援・協力を行った。

#### (2) 標識掲出、交通広告の実施

港、江東地区に道路看板を3基継続掲出したほか、新交通ゆりかもめ「船の科学館駅」に案内看板を1基継続掲出した。

### (3) 各種広報活動の実施

有効な広報手段である「船の科学館ホームページ」の運営・更新を行うとともに、「月刊教育旅行」等の教育誌及び「東京シーサイドストーリー」、「エンジョイマツプ 沿線ガイド」、「読売新聞」等の宣伝効果が期待できる媒体を利用し、船の科学館の案内広告を掲載した。

船の科学館各種行事案内リリースをマスコミ、インターネット情報サイト等に発信した。

テレビ、ラジオ、新聞、雑誌等に取材要請をするとともに、撮影、取材、番組制作に協力し、船の科学館の知名度の向上に努めた。

## 6. 諸施設の利用状況

開館35年を迎えた船の科学館は、家族連れの個人客をはじめ、都内・近県及び全国の小、中、高校生の校外学習や遠足及び修学旅行のほか、一般団体、海事団体、障害者団体、高齢者団体等の受け入れを幅広く行うことにより、開館当初よりの目的である海事知識の普及啓発に努めた。

### (1) 入館者数及び施設利用者数

来館者の利用状況は、有料入館者については、個人 139,612 人、団体 32,103 人の計 171,715 人となり、無料入館者（学生団体の教職員、招待券等）9,518 人、宗谷・羊蹄丸にのみ乗船した見学者 5,400 人の計 186,633 人の入館があった。この他に、催事・会議・セミナー参加者・施設利用者は 129,736 人あり、合計で 316,369 人の来館者があった。

### (2) 諸施設の運営

便益施設については、飲食施設のレストラン「海王」は大同企業(株)と、「ベイサイドテラスキャビン」及び売店「マリンショップ」はノムラデベロップメント(株)との施設使用契約を締結し運営を行った。このうち船尾屋外の軽食施設「ベイサイドテラスキャビン」については、臨海副都心地区における類似飲食施設のリニューアルや新規出店、コンビニエンスストアの充実など近隣競合施設の状況の変化から、9月27日で営業を終了し、一部改修工事を実施した後、展示品の収蔵庫として活用した。

また、施設の老朽化等により平成20年度で当財団の運営による夏期遊泳営業を終了したプールについては、一般来館者によるカヌー操船体験や将来のオリンピック出場を目指す江東区の中学校カヌー部による練習の実施などの体験教室用プールとして、また、小型エンジン付きのミニボート試乗会やラジコンの模型船の走航会場として年間を通して

積極的に活用した。さらに夏休み期間は、(株)フジテレビジョンの夏期イベント「お台場合衆国」のベイサイドプール会場として貸与することにより、臨海副都心の賑わいの創出と地域の活性化に協力するとともに、来館者数の増大に努めた。